

**令和5年度第2回農業大学校外部評価委員会
議事録（要旨）**

日時 令和6年2月15日（木）14:00～15:30

場所 大分県立農業大学校 会議室

出席者

外部評価委員

大分県高等学校教育研究会農業部会長	佐藤 智之
大分県指導農業士会長	池永 勝己
大分県農業法人協会会長	上原 隆生
農業大学校同窓会副会長	湯浅 正徳
大分県指導農業士会副会長	植木 美和
J Aおおいた営農担当常務	森本 亨
豊後大野市農業振興課長	森下 志郎
中部振興局農林漁村振興部長	生野 栄城

農業大学校

竹中校長、金丸副校長、佐藤次長、古庄部長、有馬部長

議事内容

- ・令和5年度重点目標の取組及び評価について大学校から説明があり、出席委員による審議の結果、以下の評価となった。

運営方針1「活気ある学園づくり」… 目標を未達（50～80%）

運営方針2「質の高い教育の提供」… 目標を未達（50～80%）

運営方針3「新規就農者の確保」… 目標を未達（50～80%）

- ・その他、大学校から以下の内容について報告があった。

大学校運営に関するアンケート結果（学生や保護者、研修生向け）

全寮制の見直しについて

- ・委員からあった意見等は以下のとおり。（→以下は大学校からの説明）

【評価に関するもの】

- 中学生や高校生が減っている中、大学校は新たな取組で頑張って学生を集めている。
- 学生が活き活きとしている。就職先の法人側も学生に夢を与えられるよう、これまで以上に儲かる農業を目指していかないといけない。
- 以前に比べて学生の女性比率が低くなっている。
- 学生の募集は、高校からの新卒だけでなく、既卒者や社会人もターゲットにしては。

- ファーマーズスクールから学生を斡旋してもらうのはどうか。
- 学生によって資格取得数に開きがある。
 - 要因としてお金の問題がある。
- 法人側としてはフォークリフトの資格があると有り難い。
 - フォークリフトの資格取得は希望者のみとしているが、必須資格にできないか検討する。
- プロジェクト発表のレベルが年々上がっている。一方、日本農業技術検定3級の取得率が34.5%というのは低すぎる。
- 就農率は下がっているが、JAやメーカーなど農業関連企業への就職実績があがっていることは好ましいこと。
- 4年生大学への編入が有利であることをPRしてはどうか。
- 資格取得の取組が運営方針3「新規就農者の確保」にあるが、内容的には運営方針2「質の高い教育の提供」なので変更するように。
- JAの女性部を受け入れて研修しては？農大のPRにも繋がると思う。

【アンケートに関するもの】

- 食事に対する不満が多いようだが、年に数回は夕食メニューが豊後牛など各団体から大分の食材を提供してはどうか。
- 業者と学生の意見交換の場を設けてはどうか。

【全寮制の見直しに関すること】

- 時代の流れとして外部評価委員会として希望制への移行に賛同する。
- 早朝の飼育当番への影響を考慮して、30分以内の距離圏にある自宅通学のみを認める方針で試行するようだが、飼育当番用に寮の空き部屋を開放してあげれば遠距離からの自宅通学も可能ではないか。

以上